

# 代用乳追加給与による和子牛の発育改善技術

## 背景

近年産肉能力主体の雌牛選抜が主流となり、  
**哺育能力 乳量の多さ**が軽視され哺乳量の少ない牛が増加傾向にあるが、  
 どの牛が乳量が少ないのかわからない!!!

## これまでの研究成果

- ・哺育初期の発育が市場出荷時までの発育に大きく影響することを解明
- ・哺乳量が子牛の発育に大きく影響することを解明
- ・生後1週間の子牛の体重増加量(X)から哺乳量(Y)を推定できる哺乳量推定式を開発した

$$(Y) \text{ kg} = 0.47(X) \text{ kg} + 2.9 \text{ kg} \quad (\text{雄子牛})$$

$$(Y) \text{ kg} = 0.7(X) \text{ kg} + 1.76 \text{ kg} \quad (\text{雌子牛})$$

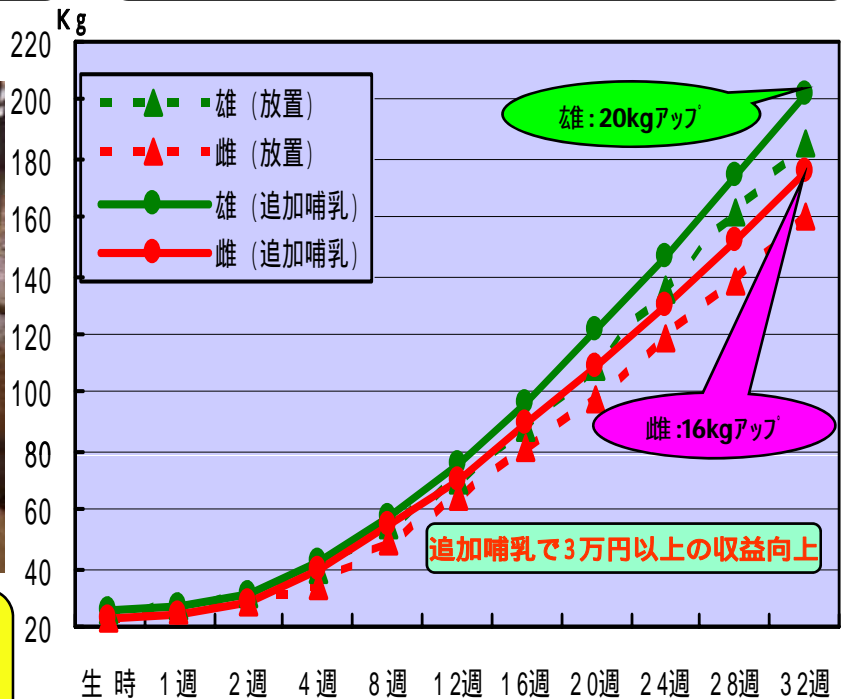
(1週齢までなら人用体重計で子牛の体重測定可能 = 農家で簡単に測定できる)



そこで!

哺乳量推定式を用い生後1週で  
 哺乳量が少ない個体を見つける

1週齢なら哺乳ビンにもすぐに慣れさせられるから  
 1~8週齢まで母乳に加えて代用乳を追加給与!!



生後1週齢で、哺乳量が少なく、母乳のみで放置しておけば発育が悪くなるものに対して代用乳を追加給与することで発育改善を!!

生後1週間の増体が3kg未満の子牛を放置した場合と追加哺乳した場合の体重比較



いちいち推定式にあてはめて乳量計算するのは面倒だな...  
 でもこの早見表で給与量を見るととっても便利だよ

生後1週間の子牛の増体量でみた  
 1日当たり追加すべき哺乳量(早見表)

増体量 (kg)	哺乳量(リットル)	
	雄	雌
1	2.5	3.0
2	2.1	2.3
3	1.6	1.6
4	1.1	0.9
5	0.6	0.2